

Wilfried Jacobs

ウィルフリッツ ヤコブス

ベルギーのアントワープロイヤルバレエ学校でバレエの教育を受け、
1995年3月よりドイツのカールスルーエ Badishes Staatstheater（芸術監督ジェルミナル・カサド）入団。
1998年8月から2007年9月まで、日本でゲストダンサー、振付、教師として活動。
2006年アメリカのジャクソンで開催されたIBCで、フィンランド国立バレエ団元芸術監督のディナ・ビヨルンよりバレエ団の入団の誘いを受ける。
2009年10月プリンシパルに昇格。
2013年8月より、フィンランド国立バレエ学校の校長に就任、同時にプリンシパルダンサーとして活躍。
2017年春にHAMK（Häme University of Applied Sciences）より国際専門教師として卒業。
2016年12月、フィンランド共和国より「フィンランド獅子勲章騎士章」授章。



Above: Onegin (John Cranko) with Edita Raušerová
Left: Scheherazade (Kenneth Greve) with Julie Gardette
Below: Manon (Sir Kenneth MacMillan)

